

日常生活で使われる「紙」は一般的に木材から作られています。乱伐採により森林が減少することで、動植物などの生態系への悪影響や地球温暖化の引き金にも繋がるのが問題視されています。また、木材は資源として伐採できるまで30年もの時間が必要とされています。一方、竹はわずか3年で伐採が可能のため持続可能な再生資源として、とても優秀であるにもかかわらず、資源としては有効活用されない状態が続いていました。

そこで、竹を資源として有効活用すべく、竹から紙を作る技術が開発されました。

【株式会社竹市場】では、この竹の紙をより多くの方々へお届けできるよう新商品として「たけのかみ貼り竹うちわ」を企画致しました。竹の紙を利用することで、森林を守り、持続可能な社会へ貢献することができます。また「たけのかみ貼り竹うちわ」を通じて、現代社会で最も重視されているSDGs活動として販売店様の環境問題に対する企業イメージの向上にもお役立ていただけます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



なぜ竹が消費されないと問題なの？

竹は僅か3年で成長が完了するほど繁茂力が強い植物です。そのため竹林が放置されるとやがて近くの森林へと侵入し森林の日当たりを悪くしてしまいます。日当たりが悪くなると他の植物の成長を阻害し、周辺生物も減少していきます。さらには森林の持つ水源涵養機能の低下を引き起こし、土砂災害・土砂崩壊に繋がる社会問題ともなっています。

現在、日本国内における竹の消費量は減少の一途で、反比例して放置竹林の拡大が進んでいます。放置された竹林が、森林や周辺の生物多様性を脅かすことになるため、竹を適切に利用することが持続可能な社会へと繋がります。



株式会社 竹 市 場
名古屋市西区歌里町 227 番地
TEL : 052-502-5473
FAX : 052-503-7372